

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			7月21日	7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	Net Chg
<b>Forex</b>	USD/BRL	Spot	2,2210	2,2130	2,2190	2,2220	<b>2,2300</b>	+0,0080
	USD/YEN	Spot	101,39	101,46	101,51	101,81	<b>101,84</b>	+0,0300
	EUR/USD	Spot	1,3523	1,3466	1,3464	1,3464	<b>1,3430</b>	-0,0034
	BRL/YEN	Spot	45,65	45,85	45,74	45,83	<b>45,67</b>	-0,1600
<b>Swap</b>	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	0,97	1,03	1,14	1,22	<b>1,17</b>	-0,0440
		1Year(p.a.)	1,13	1,16	1,27	1,35	<b>1,34</b>	-0,0120
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,74	10,72	10,75	10,79	<b>10,77</b>	-0,0180
		1Year(p.a.)	10,83	10,79	10,84	10,92	<b>10,86</b>	-0,0584
<b>Stock</b>	<b>Bovespa</b>		57.634	57.983	57.420	57.978	<b>57.821</b>	-156,48
<b>Bond</b>	<b>CDS Brazil 5y</b>		138,40	132,25	132,00	134,80	<b>139,00</b>	+4,2000
	<b>Global 40</b>		111,200	111,000	110,950	110,950	<b>110,850</b>	-0,1000

\* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
FIPE CPI-週次	0.07%	0.11%	0.04%	なし
FGV消費者信頼感	--	106.9	103.8	
経常収支	-\$3900M	-\$3345M	-\$6635M	
対内直接投資	\$3800M	\$3924M	\$5963M	

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.2300 で寄り付いた。
- 週初めにウクライナ上空で起きたマレーシア航空機撃墜をめぐり、米国と EU は対ロシア制裁の強化を辞さない構えでいることからリスク資産の売りが見られ、レアルはやや売られるも、直後から世論調査でルセフ大統領のリードが更に縮小していることが示されたことからレアルは買い戻される展開となった。
- 翌 22 日にはマレーシア航空機撃墜をめぐりリスクオフモードが少し改善され、株式市場を中心にリスク資産の買い戻しが見られると、レアルも週間高値となる U\$1=R\$2.2080 まで上値を拡大した。
- 週央にかけては特段材料に欠ける中、新たな世論調査で第二ラウンドに至った場合でもルセフ大統領が再選される可能性が高いことが示され、レアルはやや売られる展開となった。
- 翌 24 日には COPOM 議事録が発表され、高インフレの時期は当分の間続く可能性があると示唆されたことから先物金利は大きく上昇したが、レアルの動きは引き続き小幅な推移に留まった。
- 週末にかけてはウクライナとロシアの間で緊張が高まる中、リスクオフモードの動きが見られレアルは週間安値となる U\$1=R\$2.2320 まで下落したが、その後は 2.2240 から 2.2320 の間で小幅に推移し、結局 U\$1=R\$2.2300 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
7/28	FGV建設コスト(前月比)	Jul	0.73%	1.25%
7/28	貿易収支(週次)	jul/27	--	-\$552M
7/29	ローン残高(前月比)	Jun	--	1.0%
7/29	融資残高	Jun	--	2804B
7/29	個人ローン・デフォルト率	Jun	--	6.7%
7/30	FGVインフレGPM(前月比)	Jul	-0.50%	-0.74%
7/30	FGVインフレGPM(前年比)	Jul	5.50%	6.24%
7/30	中央政府財政収支	Jun	--	-10.5B
7/31	PPI 製造業(前月比)	Jun	--	-0.24%
7/31	PPI 製造業(前年比)	Jun	--	6.59%
7/31	純債務対GDP比	Jun	--	34.6%
7/31	基礎的財政収支	Jun	--	-11.0B
8/1	FGV CPI IPC-S	jul/31	--	0.16%
8/1	鉱工業生産(前月比)	Jun	-1.8%	-0.6%
8/1	鉱工業生産(前年比)	Jun	-7.7%	-3.2%
8/1	HSBCワールド製造業PMI	Jul	--	48.7
8/1	貿易収支(月次)	Jul	\$800M	\$2365M
8/1	総輸出	Jul	\$23400M	\$20468M
8/1	総輸入	Jul	\$22200M	\$18103M
8/1	自動車販売台数(ワールド自動車販売店連盟)	Jul	--	263593

## 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.18 – 2.25

今週はウクライナやガザで戦闘激化が注目され、リスクオフモードの動きが全世界で見られた。レアルはその動きにつられて売られる展開となつたが、下げ幅は限定的となり、週間を通して見るとボラティリティーの低い週となつた。来週は国内外で主要イベントが多く見られ、リスクオフモードの動きに加えてレアルの値動きが荒くなる可能性が高い。主な要因としては国内では鉱工業生産が注目され、6月はワールドカップの影響も考えると-7.5%を市場の大半は予想している。海外では米FOMC、GDP や ISM 製造業景況指数が注目される。イエレン FRB 議長は先週の議会証言で米国には緩和的な金融政策が引き続き必要だと述べたが、米FOMC では利上げが予想より早くなる可能性があるとの認識を示しており、来週の米FOMC で今後の動向が明確になるだろう。